

公明党市議団が提出した 意見書4本が可決されました!

※1の意見書は賛成多数で、2・3・4の意見書は
全会派賛成で可決されました。
可決された意見書は「千葉市議会」として国に提出されます。

1 教職員体制の整備とともに、専門職員やスタッフなどが学校運営や教育活動に参画していく**チーム学校推進法の早期制定を求める意見書。**

2 返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書。

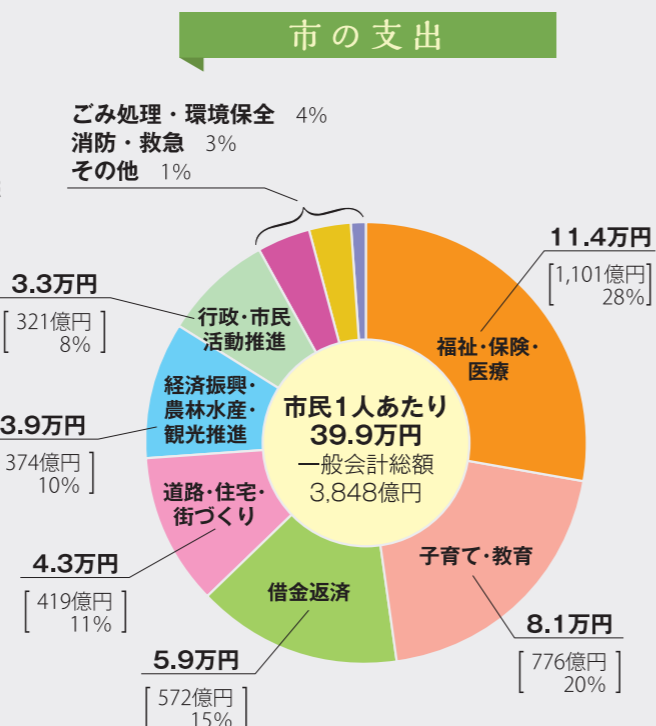
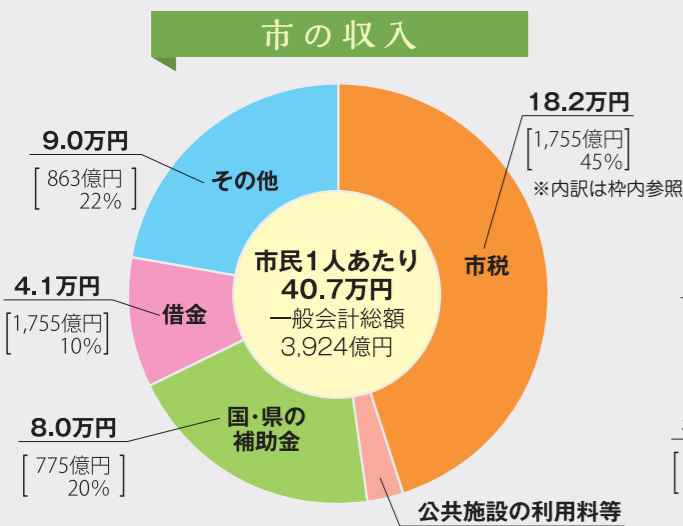
3 非正規雇用労働者と正規労働者との不合理な待遇差等の是正をするための「**同一労働同一賃金**」の実現を求める意見書。

4 年金の受給資格期間を25年から10年に短縮する措置など、**無年金者対策の推進**を求める意見書。

千葉市の収入と支出

平成27年度決算(一般会計総額)

▶金額は市民一人あたり(カッコ内は総額、構成比)



参考 市税18.2万円の内訳

市民税	8.6万円 (48%)
固定資産税	6.9万円 (38%)
都市計画税	1.3万円 (7%)
市たばこ税	0.8万円 (4%)
その他	0.6万円 (3%)

決算に対する公明党の意見

平成27年度決算議案 賛成討論より

平成27年度決算は、一般会計の実質収支を45億4,100万円確保したほか、将来負担比率は前年の231.8%から208.7%に改善され、財政健全化プランの目標である200%未満の達成が間近になるなど財政健全化に向けた取り組みに一定の効果があらわれたものと評価しました。

各施策においては、少子・超高齢化への対応、防災・減災対策、地域経済の活性化、防犯街灯のLED化など将来を見据えた取り組みが図られました。また、地域包括ケアシステムの早期構築に向けた対策や健康づくり、再生可能エネルギーの活用推進、保育所の待機児童対策や子どもルーム、里親制度の推進など、会派が提案した施策の的確な事業展開がなされており、公明党市議団として協議を行った結果、平成27年度決算を認定すべきと判断いたしました。

市政に関するご意見やご要望をお寄せください!

お寄せいただいたご意見・ご要望については、政策提案等に役立てて参ります。 **FAX.043-245-5584**

公明党千葉市議会議員団 TEL.043-245-5483 <http://gate.ruru.ne.jp/chibakomei/>

公明党千葉市議会議員団 市議会だより

発行日/平成28年10月 発行/公明党千葉市議会議員団
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1

2016
秋号

救急救命 日本一の千葉市をめざして!



青葉病院救急棟2階に設置された救急ワークステーションでは、消防救急隊への再訓練研修が実施されています。

これは市民の救命率向上および後遺症の軽減を図るため、救急隊員の技術水準の向上を目的としたものです。

公明党市議団として、研修現場を視察し、訓練カリキュラムの一環としての救急隊活動実習において、ビデオ喉頭鏡を用いた気管挿管や静脈確保



などが再訓練されていることを確認いたしました。

これからも救急と医療が一体となったサービスが市民の皆様提供されるよう、救命率向上に向けた取り組みを全力で推進してまいります。

市民サービス・市民福祉の向上を“かたち”にします!

平成29年度・予算編成に関する要望書を提出しました

今議会(平成28年第3回定例会)の最終日10月3日に、公明党市議団として平成29年度予算編成に関する要望書を市長に提出いたしました。

この要望書にあげる1つ1つの項目は、これまで公明党市議団としての政策提言や現場からの声を積み上げてまとめたものであり、真摯に受け止め、平成29年度の予算編成にあたるよう求めました。



市長からは「公明党市議団から提出いただいた要望書を重く受けとめ、市政に反映してまいります。」との言葉がありました。

これからも公明党市議団は、市民の声を政策に実現するため、全力で頑張っております。

公明党市議団 代表質疑より

青葉病院の救急体制と海浜病院の老朽化について



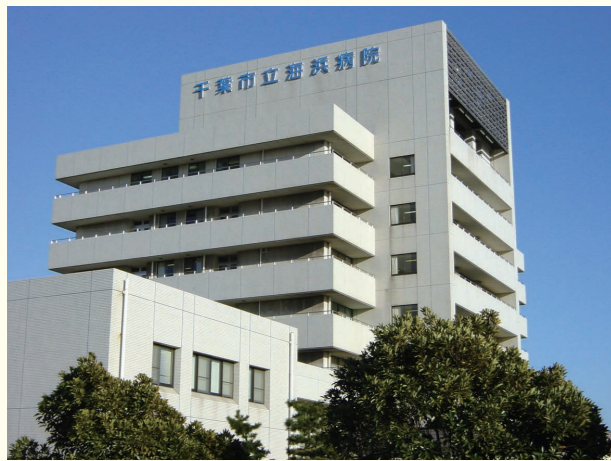
青葉病院(救急棟)の役割と、24時間365日体制の救急担当医を含めた職員の労働環境について要望しました。

市長からは「救急医療は不採算・特殊部門と言われており、積極的に患者を受け入れる救急医療機関として本市の医療を支えたい。救急医は全国的に不足している中、常勤医の確保につとめ、安心・安全な医療を提供できるよう取り組んでいく。」旨の答弁がありました。

昭和59年に設置された海浜病院については、将来を見据えたあり方についての早急な検討が必要ではないかと指摘しました。

市長からは「海浜病院は、中長期保全計画に基づき計画的に補修や修繕を実施し、地域医療構想と整合を図りながら、医療環境の変化などに対応するための改修を進める。」旨の答弁がありました。

両市立病院の、市民の健康と生命を守る体制づくりを目指し、今後も病院改革について取り組んでまいります。



災害に強い、千葉市を! 千葉市国土強靱化地域計画の策定を要望

安全・安心のまちづくりを進める上で、千葉市の国土強靱化計画の策定が急がれており、公明党市議団として検討体制構築と、早期の計画策定を要望しました。

市長からは「千葉市国土強靱化地域計画については、全庁的な検討体制を構築し、専門家や市民の意見を伺う必要があります。また、国および県の国土強靱化計画との整合を図り、千葉市の特性を考慮しながら、強靱化すべき分野を明確にしたうえで、策定してまいります。」と答弁がありました。

千葉市の災害発生率の高い予測を踏まえ、市民の安全・安心のため、災害に強いまちづくりに資する強靱化地域計画の早期策定をさらに求めてまいります。



市民・事業者・市が一体で、食品ロスの削減を!



市と協力したNPO法人「フードバンクちば」の取組みが10月からスタートしており、公明党市議団としてフードドライブのために食品をストックしている倉庫などを視察し、生活困窮者支援を行うNPOのスタッフの皆様と意見交換をさせていただきました。これからも市民・事業者・市が一体となった食品ロス削減の取組みを推進してまいります。



食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」については家庭やスーパー、ホテル、レストランなど、あらゆるところで見受けられ、日本では年間2797万トンの食品廃棄物のうち632万トンが食品ロスと推計されています。

特別支援教育の充実を! 新たにスクールメディカルサポーターを派遣

これまで公明党市議団は、障がいの重い児童生徒であっても通常学級や特別支援学級に就学できるよう支援の強化を求めてまいりました。そこで、現在の支援の状況と今後の取組みについて伺いました。

教育長からは「常時介助が必要な児童のために5人の介助員を学校へ配置し、また医療的ケアが必要な児童のために4人のスクールメディカルサポーター(看護師)を派遣して適切な対応を行っています。今後は、特別な支援が必要な児童生徒の増加が見込まれることから、配置の工夫と支援の改善について検討し、事業の一層の充実を図ってまいります。」との答弁がありました。

通学路の路肩のカラー化を!

“計画的に”通学路がカラー化されます
平成32年度までに約60キロメートルを整備予定!

通学路の安全性をより一層向上させるため、路肩のカラー化の推進を求めて、今後の取組みについて質問しました。

副市長からは「今年度、新たに『千葉市通学路のカラー化計画』を策定し、市内の全ての小学校112校を対象に、学校から半径500メートルの範囲にある歩道の無い通学路の路肩をカラー化することとし、今後5年間で約60キロメートルの整備を予定しています。また、通学路の路肩を緑色でカラー化していることを道路利用者へ広く周知して参ります。」との答弁がありました。

